

福祉情報 おきなわ Vol. 110

2006.11.1



屋嘉比朝一さん(那覇市)の作品

目次

- 2 特集 道路運送法の改正と移送サービス
- 4 法人から発信!「若竹福祉会」
- 5 福祉用具を上手に使うって楽々介護を
- 6 共同募金「ありがとうメッセージ」
- 7 シリーズ活動最前線「芭蕉の会」福祉施設経営相談Q&A
- 8 ほっとニュースTopics
- 10 介護情報公表センター 本格稼働
- 12 かりゆし県民フェスティバル告知
- 13 福祉人材研修センターだより
- 14 県民児協広報「ふくらしゃ」
- 16 インフォメーション

「福祉情報おきなわ」の作成経費の一部として共同募金配分金を使用させていただいております。

編集・発行

沖縄県社会福祉協議会 沖縄県共同募金会
沖縄県福祉人材研修センター 沖縄県民生委員児童委員協議会

〒903-8603 沖縄県那覇市首里石嶺町4-373-1(沖縄県総合福祉センター内)
TEL.098-887-2000 FAX.098-887-2024 <http://www.okishakyo.or.jp/>

福祉情報 おきなわ Vol.110

INFORMATION

ホントにおすすめの本

『なぜ人は虐待するのか
～障害のある人の尊厳を守るために～』



図書情報
著者/野沢和弘
発行/平成18年3月15日
出版/Sプランニング
価格/1,050円

障害者に対する虐待はどこでも起こり得るという視点から、虐待の捉え方、日常的な心構えについて自身の体験を交えて紹介。家族とのかかわり方や職員研修のあり方を提案し、福祉現場における虐待防止を科学的に解説しています。権利擁護の指南書として、福祉の現場にたずさわる方すべてにお勧めの一冊です。

ご注文は沖縄県社協総務部図書係まで。
TEL: (098) 887-2000



▲県総合福祉センターは分煙により快適な施設利用を進めています。

**利用しやすいセンターへ
沖縄県総合福祉センター分煙施設の認定受ける**
沖縄県総合福祉センターは、9月18日、南部福祉保健所・中央保健所(宮里達也所長)より「沖縄県禁煙・分煙施設認定制度」による認定証とステッカーの交付を受けました。これまで各階に設置していた喫煙所を1階の屋外の3箇所へ移動し、出入口から一定の距離をとるなど施設内分煙に対する取り組みが認められ、今回の認定となりました。



県では、県内の学校や病院、集会所など多くの人が利用する施設で、タバコの煙の害が他人に及ばないような管理努力を求めている。認定証はこの指導を實踐し、審査基準を満たした施設・事業所に交付されます。

社会福祉活動資金づくり

第10回芸能チャリティー公演
11/12 那覇市民会館にて

「社会福祉活動資金づくり・第10回芸能チャリティー公演」が左記の日程で開催されます。

本公演の収益は、県内社会福祉活動に役立てられます。皆様のご来場をお待ちしております。

詳しいお問い合わせは沖縄県社協総務部まで。

▽主催 沖縄県社会福祉協議会
第10回沖縄文化芸能チャリティー公演実行委員会

▽日時 11月12日(日)

(昼の部)午後1時30分(開演)

(夜の部)午後6時(開演)

▽会場 那覇市民会館大ホール

▽入場料 前売 1,500円

当日 2,000円

寄付者芳名

おきでんグループボランティア互助会 御中

JTB旅ホ連沖縄支部 御中

JTBレキオス会 御中

合資会社 沖縄実業 御中

(株)ベイスポートギャラリー沖縄 御中
原けい子様

編集後記

10月から障害者自立支援法や認定こども園法が施行されるなど、福祉を取り巻く制度改革はめまぐるしいものがあります。

本紙ではこういった新しい制度について分かりやすく紹介していきたいと思っています。(伊良皆)

表紙の絵



屋嘉比朝一さん
(那覇市)

今回、琉装の女性をモデルにした絵画を提供してくださったのは、那覇市にお住まいの屋嘉比朝一さん。平成16年、朝一さんは奥様のトミ子さんと共に一年間「かりゆし長寿大学」へ通った。「いろんなことにチャレンジできて有意義な体験ができました」と当時を振り返る。もともと絵画が得意だった朝一さんに加え、大学での講座がきっかけでトミ子さんも絵画を始めた。お二人ともチャレンジ精神が旺盛な明るいご夫妻である。(取材:事務局)